TOTO

アクアオート単水栓(機能部一体タイプ)

TEL24型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



安全上の注意(安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。 その表示と意味は次のようになっています。

全性 さいます この表示の欄の内容を無視して誤った取り 扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示の欄の内容を無視して誤った取り 扱いをすると、傷害または物的損害が発生 する可能性があることを示しています。 ●お守りいただく内容の種類を、次の 絵表示で区分し、説明しています。



○は、してはいけない 「禁止」 内容です。

左図は、「分解禁止」を示します。



 は、必ず実行していただく 「強制」内容です。

左図は、「必ず実行」を示します。

<u>↑</u> 警 告



浴室など湿気の多い場所には設置しない

故障・感電の原因になります。



水場使田埜山



この説明書に記載された項目以外は分解・改造し ない

破損して、けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産 損害発生のおそれがあります。



⚠ 注 意

強い力や衝撃を与えない

| 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそ | れがあります。





新・旧および異なる種類の電池を混ぜて使用しない

電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因になり ます。



屋外や凍結が予想される場所には設置しない

部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生の おそれがあります。

凍結のおそれがある場合は、周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。





必ず実行

フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、止水栓を閉めてから行う

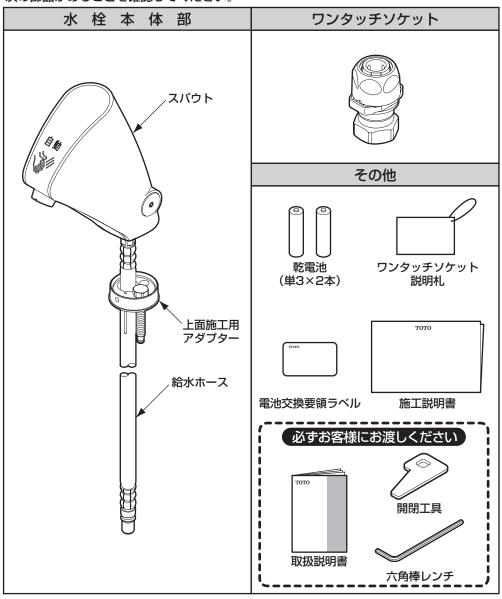
水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



2

部品の確認

次の部品があることを確認してください。



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

3

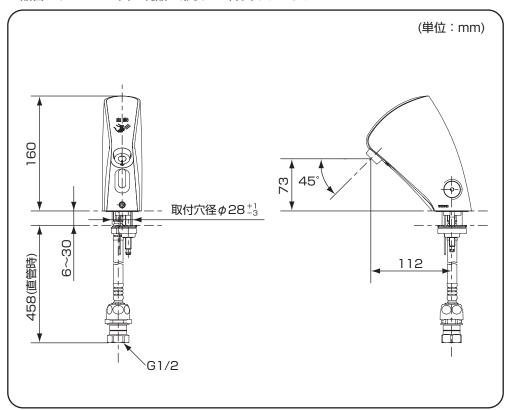
仕様

電源		アルカリ乾電池 単3×2本
乾電池寿命		月4,000回の使用で約2年 (省エネモード12時間/日使用時)
給水圧力	最低必要水圧	O.05MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa (静止時)
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度		1℃~55℃
給水部接続		G1/2
吐水流量		定流量弁(5L/分用)により上限カット 必要に応じて止水栓にて流量調節可能
感知距離		学習方式による感知距離変化型
用 途		パブリックおよび一般住宅洗面所用



完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



5-1

取り付け前に

1. 共通項目

- ●給水圧力範囲は、0.05~0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。
- ●給水圧力が0.75MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
 - 快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- ●乾電池タイプですので、配線工事は不要です。 付属の電池をご使用ください。
- ●センサー面を傷つけないよう十分にご注意ください。
- ●インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。
- ●ステンレス製およびメッキを施した手洗器や洗面器にはご使用できません。 (誤作動するおそれがあります。)
- ●アクアオートは屋内用ですので、屋外では使用しないでください。
- ●梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。
- ●水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。

2. 新規取り付けの場合

取り付ける陶器にあわせて排水金具、止水栓、バックハンガー、取付金具、 ブラケットまたはフレームが必要となります。

設計施工資料集にてご確認のうえ、別途お求めください。



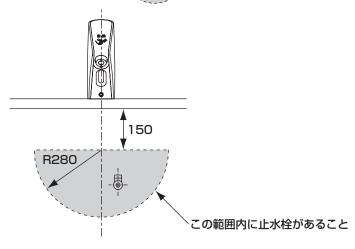
3. 取り替えの場合

<取付条件>

(単位:mm)

次の3つの条件を満たす陶器やカウンターに取り付けが可能です。

①止水栓の位置が下図でです。に示す範囲にあること。

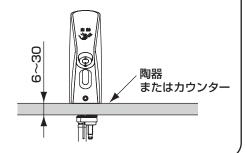


- ②取り付ける陶器またはカウンターの取付穴径が ϕ 28 $^{+1}_{-3}$ mmであること。
- ③取り付ける陶器またはカウンターの厚さが6~30mmであること。

注意

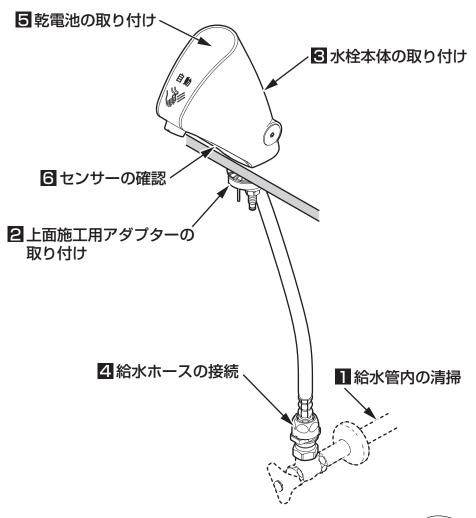
薄い陶器またはカウンターに直接取り付けると、取付面が割れるおそれがあります。

取付面が薄い場合には、下面より固めの補強板(合板)を添えて取り付けてください。



6₋₁

施工手順



1 給水管内の清掃

取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に

洗い流す。

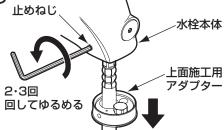


2 上面施工用アダプターの取り付け

①水栓本体下部の止めねじをゆるめる。

②上面施工用アダプターを本体から外す。

止めねじは外さな いでください。



方向に注意

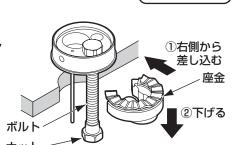
後ろ側)

手前側

③上面施工用アダプターをカウンターの穴 に差し込む。

注意

- ●上面施工用アダプターの方向 に十分に注意してください。
- ●ナットは、ボルトの先端部に あることを確認してください。
- ④カウンター下部より座金を右側からボルトに差し込む。
- ⑤座金がナットに当たるまで下げる。



⑥ボルトを締め付け、上面施工用アダブ ターに確実に固定する。

ボルトの締め付け用として専用工具 (別売: TZ4OL)を準備しており ますが下記一般工具でも取り付け可 能です。

- ①ソケットレンチ (対辺13mm)
- ②T型レンチ(//)
- ③ナットスピンナーハンドル(")



3 水栓本体の取り付け

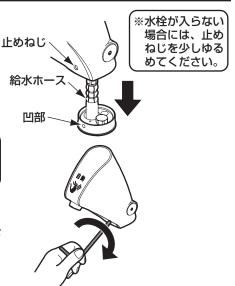
①給水ホースを通す。

②水栓本体の止めねじと上面施工用アダプ 給水ホース ターの凹部をあわせるようにしっかり差 し込む。

注 意

水栓本体に浮きがないよう注意して ください。

③水栓本体の止めねじを締めて水栓本体を 固定する。



4 給水ホースの接続

①ワンタッチソケットを止水栓に固定する。

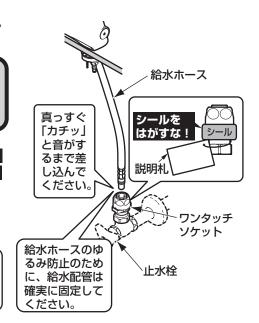
注 意

ワンタッチソケットに貼られたシールをはがさないで取り付けてください。 そのままでもホースを差し込めます。

②給水ホースに 異物の付着がないことを 確認し、ワンタッチソケットに 真っすぐ 奥まで (「カチッ」と音がするまで) 確実 に差し込む。

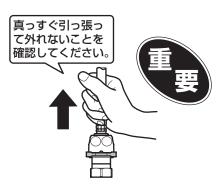
確実に差し込まれていない場合、水漏れの 原因となります。

この際、同梱の「<mark>ワンタッチソケット</mark>」の 説明札を必ずワンタッチソケットまたは 止水栓につり下げてください。



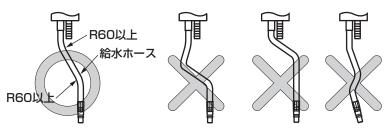
③ホースを 真っすぐ引っ張って外れない (抜けない) ことを必ず確認する。

施工後、万一ホースを外した場合は、「ワンタッチソケット」の説明札を確認のうえ、必ずワンタッチソケットとホース内の残水を抜いてからホースを差し込んでください。



給水ホース施工上の注意点

- ●ホースを 必要以上の力で曲げて 折らないように 注意してください。 ホースの 最小曲げ半径は60mm です。それよりも小さく曲げて使用すると、 ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や、破損、水漏れのおそれがあります。
- ●ホースを 水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないで ください。
- ●ホースを 無理に引っ張らないで ください。ホースが折れる可能性があります。



5 乾電池の取り付け

- ①止水栓を閉める。
- ②吐水口下のねじをゆるめる。
- ③カバーを手前にずらして、つめを外す。
- ④カバーを上に持ち上げて、カバーを外す。
- ⑤リングを引っぱり、乾電池カバーを引き 出す。

注意

強く引っぱると乾電池カバーに接続 されているコードが切れるおそれが あります。

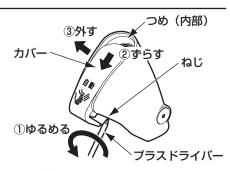
- ⑥乾電池カバーの取付ねじをゆるめる。
- ⑦リングを引っぱって乾電池ケースを引き 出す。
- ⑧アルカリ乾電池単3×2本を乾電池ケース に乗せて、乾雷池カバーに差し込む。
- ⑨取り付けねじを締め付け、乾電池カバー を本体に収める。

注意

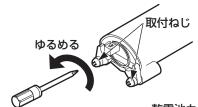
- ●乾電池の方向に注意してください。
- ●乾電池ケースは確実に差し込んでくだ さい。
- ●乾電池を入れるときは、乾電池カバー 内に水が入らないようにしてください。
- ●乾電池を入れるとただちに感知距離を 自動設定しますので、センサーに手を かざしたり、陶器内にものを置いたり しないでください。

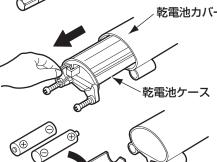
(約20秒間でこの動作は完了します)

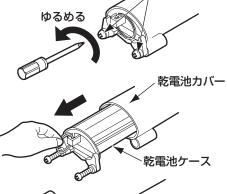
●コード類のかみこみには注意してくだ さい。











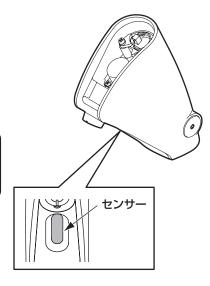
6 センサーの確認

- ①センサー内に手をかざしたり、陶器内に物 を置いたりしない状態で、スパウトのセン サー内ランプが点滅していないことを確認 する。
- ※もしも点滅していれば、スパウトの向きを 少し変え、点滅しないところに調整してく ださい。

注意

センサー内ランプの確認をする際は、必ず センサーを陶器のボウル面中心に向けて ください。

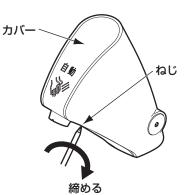
※電源を入れて約10分後にランプの点滅は 自動的に消えます。自動で点滅が消えるま でにスパウトの向きの調整作業が完了しな かった場合は、乾電池を取り付け直してく ださい。



注意

陶器の種類によっては、センサー内ランプ の点滅が消えないことがありますが、その 場合はそのまま設定してください。 (ランプの点滅は約10分後に消えます)

- ②カバーを取り付けて、叶水口下のねじを締 め付けます。
- ③乾電池交換要領ラベルを本体側面または、 壁などの目立つ所に必要に応じて貼る。





試運転および調節

1. 試運転

取り付けが完了したあと、次の方法で試運転を行ってください。

①水漏れの確認

止水栓を開き、ワンタッチソケットや給水ホースの接続部から水漏れがないか確認 してください。

- ②水を出す・止める
 - ●吐水口に手を近づけると水が出ます。
 - ●手を離すと約1~2秒後に水が止まります。
 - ●設置後すぐは、エアーがみにより流れが乱れることがあります。その場合は、数回水を出し止めしてください。
- ●手を約1分間連続して感知すると自動的に止まります。 (センサー感知は学習方式のため、手を動かさないでいると約15秒で水が止まります)
 - ●乾電池をセットしてすぐは、感知距離を自動設定しています。電池を入れてから約20秒待って使い始めてください。
- ※正常に動作しない場合は、「63 施工手順」の「5 乾電池の取り付け」から再度ご確認ください。

2. フィルターの掃除

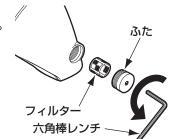
取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。

また、お客様にも時々掃除していただくよう にご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、**止水栓を閉め**

たあと、ふたを外してください。



3. 流量の調節

機能部内部に、定流量弁 (5L/分) を内蔵していますので、流量の調節は不要です。

止水栓は全開でご利用ください。

ただし、水の勢いが強すぎて衣服などをぬらすおそれがある場合 は、止水栓を回して流量を調節してください。



8

点検項目

